

人生を楽に生きるためのメッセージを箸蔵寺のご住職に伺いました。

人生 応援 メッセージ

企画・制作／徳島新聞社営業局

真言宗御室派別格本山
箸蔵寺 第六十四世住職
さとう せいじん
佐藤 盛仁氏

筆者ご紹介

【略歴】北海道大学経済学部
経済学科卒業・総本山仁和寺内仁和密教学
院卒業。高野山大学院修士課程密教学科修
了。箸蔵寺に入山の後、徳島県教育委員会の
委員、委員長を歴任。他にも多数のキャリア教
育関連の講演実績があります。

・箸蔵寺公式サイト <http://www.hashikura.or.jp/>
・ブログ「法爾自然」 <http://www.hashikura.or.jp/blog/>

人生においては、進学、就職、結婚
(離婚)など、たくさんの分かれ道が
あり、そこでは後戻りのできない決断
に迫られます。中には、「あの時、違っ
方を選んでおけば」と後悔し、現在に
不満を感じている方も、少なからずい
らっしゃるかも知れません。そのよう
な時、どんな心の持ち方をすれば良
いのかを、仏教の教えの中からご紹介
いたします。

「諸行無常」な世の中、全ての物は
絶えず変化しているので、同じ時をと
どめておいたり、昔に戻ったりするこ
とはできません。過去を変えることはできない
私たちにできること、それは、過去の経験を未来に生かすことです。



仏教には、**因・縁・果**という考え方があります。「因果は、縁によって決まる」というものです。同じ種(因)でも、水のやり方、太陽の当たり方、他にも様々な(縁)によって、咲く花や実のなり方(果)は同じにはなりません。そして、新しい実が次の種を生み出すように、「**果**」は、**新しい「因」となって次に繋がっていく**ます。私たちは、元のスタートラインに戻ることはできないかも知れませんが、今をゴールだと思おうか、新しいスタートと思うかは考え次第です。例えば、「二十代の若いうちに、色々やっておけば良かった。」と思っておける二十代はゴールですが、いつか迎える四十代をゴールとみれば、三十代はスタートです。同じ三十代でも、ただ過去を振り返って過ごすか、これからを考えて過ごすかという「縁」によって、迎える四十代という「果」は全く異なります。それに気付かなければ、「四十代になってみると、三十代は今より動けたのだな。それならばもっとやれることをやっておけば良かった。」と、また同じ後悔を繰り返すだけです。これは、七十代になろうが八十年代になろうが、いくつになっても同じことです。

小説やドラマなどでは、今の記憶や経験を持ったまま、過去をやり直す話があります。しかし、時間が戻るといことは、せっかく学んだ経験や反省まで巻き戻ってしまうのだから、同じ状況を迎えれば、未来の自分がどんなに大声で叫んでも、昔の自分はきくとまた同じ道を選ぶのではないのでしょうか。後悔ができるということは、**それだけの経験を積んだということなのです。**その経験を糧にすることができれば、

また次の新しい実を实らせることが
できるはず。皆様が、人
生の色々な分岐点を迎える時
や、大切な決断を求められる時、
「これまで」を大切に自分と向き
合いますよう、心よりお祈りして
います。

皆さまの
ご感想を
お待ちしております!



この紙面に対する感想や取り上げてほしい内容などがありましたら、お気軽にお寄せください。郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号をご記入の上、〒770-8572徳島新聞社営業局営業部「人生応援メッセージ」係までお送りください。

※お送りいただいた方の個人情報は、当社で厳重に管理し、ご本人の同意なしに第三者に開示、提供することはありません。